

平和な日本を守ること 戦没者の御霊に誓って

11月12日、戦没者慰霊祭が町戦没者慰霊碑前で開催されました。

当日は遺族や町関係者など約120名が参加。慰霊碑の前で、国歌斉唱、黙とうの後、山口町長が「終戦後57年を迎え、日本はめざましい発展を遂げています。私たちは今後一層ご遺族の方と力を合わせて豊かで明るい平和な町づくりを進めてまいります。」と慰霊の言葉を述べました。

式典はその後、献詠「錦州城 乃木希典」が詠まれ、自衛隊の音楽隊が奏でる音楽の中、参加者全員による献花と続き遺族は在りし日の故人を思い出しているようでした。



慰霊祭での献花の様子

質実剛健の気風で強くたくましく！ 西郷菊次郎顕彰剣道大会

11月23日、第25回西郷菊次郎顕彰剣道大会がB & G海洋センターで開催され、団体戦に52チーム、個人戦に181名が出場し、少年少女剣士たちが日頃研いた技を競い合いました。

この大会は、大正時代青少年の健全育成に当たった永野山ヶ野金山鉱業館長西郷菊次郎の功績をたたえて開催されているものです。

開会式では、求名剣道スポーツ少年団の山下佑一郎君（求名小六年）が「日頃の練習の成果を十二分に発揮し正々堂々試合することを誓います。」と大きな声で選手宣誓をおこない、その後分かれて試合がありました。

本町から出場の求名剣道スポーツ少年団は、団体戦・個人戦とも惜敗しました。

〔試合結果〕優勝

小学校の部 清色剣道スポーツ少年団A（入来町）
中学校の部 巖翼館（宮之城町）



出場した求名剣道スポーツ少年団Aチーム

びっくり箱



〔作文〕
「モモちゃんとかかね」を読んだ

求名小三年 上別府佳歩さん
「椋鳩十さんの本で、好きな本はなあに。」

わたしは椋鳩十記念館で母さんに聞きました。お母さんは、「モモちゃんとかかね」かなあ。」と言いました。

わたしは、そんなことから、この本を読んでみたくなりました。本の題名から、女の子の友じょうの物語と思いましたが、けれど、読んでいくうちに、かい主とねこの物語ということが分かってきました。

モモちゃんは、あかねが赤ちゃんの時に、もらってきたねこです。あかねといっしょに十三年間くらしました。あかねとずっといっしょにくらしていたので、あかねのことを自分のものと思っていました。

わたしが一番感動したのは、モモちゃんとあかねの強い心

のつながりです。その心のつながりを一番強く感じたのは、モモちゃんが死ぬ前に、よわりきった体で友だちと二かいにいるあかねの声をたよりにはい上がって行き、あかねにだかれながらつめたくなっていたところでした。

モモちゃんはあかねのことが大すきで、わたしは、さい後あかねのそばで死にたかったんじゃないかなあと思います。

わたしの家でも前、うさぎをかっていました。名前はララ。オスの白いうさぎでした。初めは、ペットサークルの中で遊んでいましたが、いつの間にか庭まで出れるようになり、近くの畑までも遊びにくくようになりました。すごかったのは、お父さんが帰ってきて名前をよぶとどこからともなく走って帰ってくることでした。近所の人たちも、「まるで犬みたいだね。」と言っていました。

それが、半年くらいたったある日、お父さんが「ララ」とよんでも帰ってきませんでした。近くの畑をさがしても